

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和4年度 高松市感染症診査協議会
開催日時	令和4年8月26日(金) 13時30分～14時30分
開催場所	高松市役所 3階 教育研究室
議 題	(1)就業制限通知及び入院勧告について (2)最近の感染症の動向について (3)その他
公開の区分	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開
上記理由	高松市情報公開条例第7条第1号に該当
出席委員	森委員、永井委員、大西委員、市川委員、宮脇委員、山本委員、東條委員、川崎委員、十河委員、中山委員
傍 聴 者	0 人
担当課及び 連絡先	保健予防課 感染症係 839-2870

### 会議の経過及び結果

- 1 開 会
- 2 保健所長あいさつ
- 3 会議の公開・非公開  
個人情報を取り扱うことから非公開
- 4 委員長により議事進行  
議事録署名委員に山本委員と東條委員指名
- 5 議 題  
(1) 就業制限通知及び入院勧告について（報告）  
事務局) 感染症審査協議会の審議内容について説明  
新型コロナウイルス感染症の就業制限・入院勧告・入院延長の実施状況について報告  
三類感染症（腸管出血性大腸菌感染症）の就業制限の実施状況について報告  
委員) 新型コロナウイルス感染症は、現在、新型インフルエンザ等感染症に変更になっているが、資料の表が古い状態なのは令和2年が含まれているためか。

事務局) 令和2年2月から新型コロナウイルス感染症は感染症法上の指定感染症となったが、令和2年分を審議していただくためそのままのものをつけている。

委員) この協議会は昨年度は実施していないのか。

事務局) 書面開催とした。

委員) 三類感染症の就業制限について、令和3年だけでなく、令和2年も示しているのはなぜか。

事務局) 書面開催の際ご報告していたのが令和2年7月までであったため、年度途中で区切らず、令和2年分全体を示している。

## (2) 最近の感染症の動向について

事務局) 説明

委員) 結核の入国スクリーニングを実施している5つの国はどこか。検査はどのような検査を実施しているか。レントゲンだけなのか、IGRA検査なのか。結核でないと証明できなければ入国できないとなると、外国人の結核患者は本来発生しないはずだがどうして発生しているのか。

事務局) 中長期在留希望者に対し検査を実施する。指定医療機関を受診しレントゲン検査を実施するとある。

委員) 入国前の検査で入国を認めるということだから、指定医療機関での検査ということではないと思う。コロナにより検査の実施など各国で機能していないのではないか。

事務局) オリンピック前の検査体制を整えるという情報であったが、内容について現時点の状況は未確認である。

委員) 4月以降実習生の受け入れなど、入国者が増えているのではないか。今年1月から高松市で外国人の陽性者は何人いたか。

委員) オリンピック前、人口10万人当たりの罹患率が10を切るように目標を掲げていたが、高松市も香川県も10をきってきている。

事務局) 今年の外国人結核新規患者は2名、再燃の患者1名で、高松市として極端に増えているという状況ではない。

委員) 現場では増えたのではないかという認識を持っている。

委員) 結核とコロナ両方に感染する人はいるのか。

委員) 外国人のケースはあった。若い方だったので重症化はしていない。

事務局) 入国前結核スクリーニングについては再度確認する。

委員) その他、一類感染症、結核以外の二類感染症の発生はなかった。エイズの患者も減ってきている。

委員) 小児科領域としては、RSウイルス・ノロウイルスが増えている。

## (3) その他

事務局) 新型コロナウイルス感染症の9月以降の負担軽減策について説明  
入院勧告に関する協議会の手続きについて、1か月毎の事後開催に関  
する通知があるため協議会の開催方法等についてご相談させていただ  
くことがあると思う。

委員) 届出は県単位になるのか。香川県としてどうするか決まっているか。

事務局) 届け出は香川県知事が行う。現在協議中。8月29日から届出が受け  
付けられることになっているが、現段階では難しい。全数把握の仕方  
や現在設置できていない健康フォローアップセンターの設置も含め  
て、県全体の方針が決まっていくことになると思われる。

委員) 協議会は保健所単位か。

事務局) 保健所単位である。

委員) 健康フォローアップセンターはどのような役割のものか。発症した若い人  
をチェックするためのものか。若い者は野放しして何かあったときには  
健康フォローアップセンターへ相談するというものか。報道でもいろい  
ろ言われている。

事務局) 健康フォローアップセンターの一部機能として、登録センターの機能  
を有する。自主検査で陽性となった方が登録センターに申し出て、登  
録センターの担当医師が発生届を提出する仕組み。

委員) 重症化リスクのない人が登録センターに登録するのか。若い人はかかり  
つけ医がない。本人が申し出なければ、重症化リスクがあるかどうか  
わからない。登録していない人が症状が悪化した場合に、突然医療機関  
を受診しても、陽性かどうかもわからないため現場は混乱する。

委員) 何千人も患者が発生するものを全数把握することはできない。医師は努  
力している、疫学者はフィードバックしていない。

委員) 症状が悪化した場合、どこに連絡するのか。今までは保健所から陽性者  
の情報提供があった。何の情報もなく本人の申告だけで病院に来られて  
も困る。保健所からの連絡がなくなってしまうと患者を含め現場はかな  
り混乱すると思う。

重症化リスクの一覧はあるか。COPDは入っているが喘息はどうなの  
か。確認しておいてほしい。

事務局) 県とすり合わせしながら検討する。